**Logo, circle

Description automatically generated**

**Salesforce の MFA 要件と MFA 自動有効化 /  
適用マイルストンが顧客に与える影響**

このドキュメントの目的: Salesforce のパートナー向けに、MFA の自動有効化および適用の仕組みと、これらのアクションに関する Salesforce の予定を説明します。この情報を活用して MFA の計画を立て、顧客の準備をサポートしてください。

脅威の状況は常に変化しており、企業の業務を停止させ、消費者のセキュリティの弱点をつく攻撃は増加の一途をたどっています。このような状況に対抗するには、顧客のユーザーアカウントへのアクセスを保護することが強固なセキュリティ戦略の鍵となります。もはやユーザー名とパスワードだけではサイバー攻撃に対する十分な保護とは言えません。**そのため、Salesforce はすべての顧客に対して、ユーザー名とパスワードによるダイレクトログインとシングルサインオン (SSO) によって Salesforce 組織 (パートナーソリューションを含む) にアクセスする際に、多要素認証 (MFA) を使用するという契約要件を設けています。**MFA 要件の詳細とポリシーは、「[Salesforce 多要素認証に関する FAQ](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000388806&type=1)」および「[Salesforce パートナーの MFA に関する FAQ](https://salesforce.quip.com/6iJTAyb07itL)」を参照してください。

この契約要件は 2022 年 2 月 1 日に施行され、現在はほとんどの顧客が Salesforce 組織で MFA を使用しています。

**メモ**: Salesforce は、Salesforce OEM パートナーのすべての顧客、およびパートナー管理者共有ログインのユースケースに対するソリューションについて、Salesforce にサポートを求めたサービスプロバイダまたはサービスプロバイダの顧客に MFA 要件の延長を認めました。Salesforce は、2022 年 10 月 13 日にこのユースケースに対するソリューションを発表し、すべてのパートナーの延長を 2023 年 11 月 15 日までとしました。詳細は、「[パートナー管理共有ログインユースケースで MFA 要件を満たす方法](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000388982&type=1)」を参照してください。

**目次**:

* [顧客の準備を進める: MFA の自動有効化は現在進行中であり、近日中に適用予定](#mfa_prep_customers)
  + [自動有効化と適用マイルストンの影響を受ける人](#mfa_who_is_affected)
  + [Salesforce の MFA 自動有効化の手順と、影響を受けるタイミングを顧客が確認する方法](#mfa_how_it_works)
  + [Salesforce が顧客の組織の MFA を自動有効化した後の影響について](#mfa_autoenable_effects)
  + [Salesforce が顧客の組織に MFA を適用した後の影響について](#mfa_enforcement_effects)
  + [MFA を必要としないユースケースで MFA を免除する方法](#mfa_waive_for_exempt_use_cases)
* [パートナー管理者共有ログインのユースケースで MFA 要件を満たす方法](#mfa_partner_admin_use_case_solution)
* [Salesforce の MFA リソース](#mfa_resources)

**顧客の準備を進める: MFA の自動有効化は現在進行中であり、近日中に適用予定**

**Salesforce OEM パートナー**: Salesforce が貴社の顧客に連絡することはないため、貴社は顧客に対して、MFA 要件に関する事前通知、Salesforce 自動有効化および適用のアクション、Salesforce 組織へのアクセス時に MFA を使用するという契約要件を遵守する方法に関するガイダンスを提供する計画を進めてください。通知メールのテンプレートは、パートナー向け多要素認証ロールアウトパックの「MFA Comms Email Templates-Partners.docx」を参照してください。

顧客が MFA 要件を満たせるように、Salesforce は Salesforce の本番組織へのダイレクトログインで多要素認証を自動的に有効にします。MFA 自動有効化の第 1 フェーズは、Spring ’23 のリリースで実施されました。今後の数回のメジャーリリースで追加フェーズが予定されており、Spring ’24 に完了します。MFA がログイン時に必須となる MFA の適用は、Summer '24 リリースから開始される予定です。

**メモ**:

* Salesforce OEM の顧客に属する組織については、現時点では Spring ’24 リリースでの自動有効化を予定しています。
* [パートナー管理者共有ログインのユースケースでの延長](#mfa_partner_admin_use_case_solution)を受けた顧客については、現時点では Spring ’24 リリースでの自動有効化を予定しています。
* 自動有効化および適用のスケジュールは変更する可能性があります。これらのマイルストンの現時点での日程を把握するには、「[多要素認証 (MFA) 適用ロードマップ](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000389313&type=1)」を参照してください。

これらのマイルストンが実施される際に顧客に混乱が生じる可能性を避けるには、Salesforce のアクションを待たずに、できるだけ早く貴社 (または顧客) が MFA を有効にすることを推奨します。そうすることで、ビジネスに適したスケジュールで MFA をロールアウトすることができ、顧客のユーザーに事前トレーニングやオンボーディング資料を確実に提供できます。「[直接ユーザーログインの MFA の有効化](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.security_mfa_overview.htm)」および「[MFA ロールアウトに成功するための変更管理](https://security.salesforce.com/mfa-change-management)」のガイダンスを参照してください。このドキュメントの後のセクション「[MFA を必要としないユースケースで MFA を免除する方法](#mfa_waive_for_exempt_use_cases)」も参照してください。

**自動有効化と適用マイルストンの影響を受ける人**

Salesforce は、すべての Salesforce 本番組織 (パートナーソリューションを含む) に対して MFA を自動有効化し、最終的に適用します。これには、MFA 要件をすでに満たし、アクセスに SSO を使用している組織も含まれます。

これはなぜでしょうか。自動有効化時に組織レベルの設定が有効になるため、組織へのすべてのダイレクトログインで MFA が必要になります。これにより、継続的なメンテナンスも簡素化されます。顧客の組織に新しいユーザーを追加するときに、MFA を手動で有効にする必要はありません。また、顧客側に SSO をスキップして直接ログインするユーザーがいたとしても、そのユーザーも自動的にカバーされます。

**重要**: MFA の自動有効化では SSO 実装の MFA は有効にならず、SSO で組織にアクセスするユーザーは影響を受けません。ただし、契約の MFA 要件は SSO ログインにも適用されます。

すべての本番組織で自動的に有効になるため、このアクションについて事前に顧客に伝えておくことを推奨します。メール / コミュニケーション用のテンプレートは、「パートナー向け多要素認証ロールアウトパック」に含まれています。「MFA Comms Email Templates」という .docx ファイルを参照してください。。

**Salesforce の MFA 自動有効化の手順と、影響を受けるタイミングを顧客が確認する方法**

Salesforce は、[リリース更新のメカニズム](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.release_updates.htm)を通じて段階的に、本番組織へのダイレクトログインに対して MFA を自動的に有効にしていきます。**MFA 自動有効化リリース更新**が実行される 1 つ前のリリースで、顧客の組織のリリース更新ノードに事前通知が表示されます。たとえば、Summer ’23 に自動有効化が予定されている顧客には、Spring ’23 のロールアウト終了後に MFA リリース更新が表示されるようになります。

各メジャーリリース後に、貴社または顧客が組織のリリース更新ノードを確認することを推奨します。MFA リリース更新が表示された場合は、次のリリースで自動有効化が行われることになります。リリース更新がまだ表示されない場合は、将来のリリースで自動有効化が行われます。リリース更新が表示されるまで、メジャーリリース後の確認を続けてください(まれに、メジャーリリースが完了してから新しい更新がリリース更新ノードに表示されるまでに数週間かかることがあります)。

**メモ**:

* 次のフェーズで自動有効化が行われる予定の顧客が、その後 MFA 要件を満たす延長を受けた場合、MFA リリース更新は [設定] に引き続き表示されます。ただし、リリース更新が実行されても、自動有効化は行われません。
* 自動有効化が実行される直前に延長を受けた場合、技術上の問題により、顧客の組織での MFA 有効化を防ぐことができない場合があります。この場合、Salesforce システム管理者が [設定] の [ID 検証] ページから **[Salesforce 組織へのすべての直接 UI ログインに多要素認証 (MFA) が必要]** チェックボックスをオフにするだけで、すぐに無効化できます。詳細は、[こちらの記事](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000394046&type=1)を参照してください。

**Salesforce が顧客の組織の MFA を自動有効化した後の影響について**

MFA 自動有効化のリリース更新が実行されると、Salesforce 組織全体の設定で **[Salesforce 組織へのすべての直接 UI ログインに多要素認証 (MFA) が必要]** が有効になります。



ここでは、Salesforce が MFA を自動有効化した後の影響について説明します。

* ユーザーインターフェイスログイン用の多要素認証のユーザー権限を持ち、すでに MFA でログインしているユーザーへの変更点はありません。
* これまで MFA を使用していなかったユーザーには変更点があります。次にユーザー名とパスワードを使用して直接ログインするときに、MFA に登録するプロセスが案内されます。その後は、ログインのたびに MFA の検証が表示されることになります。
* Salesforce が MFA を有効化した後に 30 日間の猶予期間があり、その間ユーザーは登録をスキップして MFA を使用せずにログインできます。猶予期間は組織の自動有効化が行われた日に開始され、組織の全ユーザーに対して同じ 30 日の期間が適用されます。
* 自動有効化の実行時に MFA の準備が整っておらず、30 日の猶予期間では足りない場合、貴社 (または顧客の Salesforce システム管理者) はこの先 Salesforce が MFA を適用するまで、すべてのユーザーに対して MFA を一時的にオフにすることができます。

全詳細とガイダンスは、こちらの[ヘルプトピック](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.mfa_registration_grace_period.htm)を参照してください。

**Salesforce が顧客の組織に MFA を適用した後の影響について**

将来的に、Salesforce は MFA をダイレクトログイン時の必須操作とする予定です。ここでは、Salesforce が MFA を適用した後の影響について説明します。

* **[Salesforce 組織へのすべての直接 UI ログインに多要素認証 (MFA) が必要]** の設定を以前にオフにした場合は再び有効になります。貴社も顧客も、この設定をオフにすることはできなくなります。
* ユーザーがユーザー名とパスワードで直接ログインするたびに MFA の検証が表示されます。
* まだ MFA を使用していないユーザーは、ログイン時に MFA の登録を求められ、登録するまで自分のアカウントにアクセスできなくなります。
* ユーザーインターフェイスログイン用の多要素認証のユーザー権限を持ち、すでに MFA でログインしているユーザーへの変更点はありません。

**MFA を必要としないユースケースで MFA を免除する方法**

API を使用したシステムインテグレーションログイン種別、Experience Cloud サイトへの外部ユーザーログイン、自動テストや RPA アカウント、Developer Edition やスクラッチ組織など、MFA が義務付けられていないユースケースがいくつか存在します。これらのケースのほとんどは、Salesforce が MFA を自動有効化して適用するときに自動的に除外されます。ただし、これに除外するユースケースもあり、この場合は MFA が有効になったときに影響を受けないよう、貴社または顧客の Salesforce システム管理者が手動で除外する必要があります。

顧客にこれらの除外ユースケースがあるかどうかを確認し、そのアカウントについて MFA を免除するための手順をとってください。除外ユースケースの一覧と MFA を免除する手順は、Salesforce ヘルプの「[MFA からの除外ユーザーの除外](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.security_mfa_exclude_exempt_users.htm)」に記載されています。

**パートナー管理者共有ログインのユースケースで MFA 要件を満たす方法**

MFA 要件は、顧客の組織で管理業務を行う目的で顧客から提供されたライセンスを組織内で共有する Salesforce サービスプロバイダにとって課題となっています。このシナリオは、パートナー管理者共有ログインのユースケース (略してパートナー管理者ユースケース) と呼ばれます。

MFA では各ユーザーがログインする前に固有の検証方法を提供する必要があるため、パートナー管理者ユースケースの一部のサービスプロバイダとその顧客の MFA 導入が妨げられています。複数のユーザーが 1 つのライセンスを共有している場合、MFA が有効化されると、そのうち 1 人しかログインできなくなります。そのため、Salesforce は、Salesforce OEM のすべての顧客、およびパートナー管理者ユースケースに対するソリューションについて Salesforce にサポートを求めたサービスプロバイダまたはサービスプロバイダの顧客に MFA 要件を満たすための延長を認めました。

Salesforce は、2022 年 10 月 13 日にパートナー管理者ユースケースのソリューションを発表しましたが、ソリューション発表日以降に認められたものを含め、すべてのパートナー管理者ユースケースの延長は 2023 年 11 月 15 日に終了します。この延長を受けた顧客には、延長の終了日に MFA 要件が適用されます。この延長を受けた顧客については、現時点では、Spring ’24 リリースでの自動有効化を予定しています。

**メモ**: パートナーの顧客から直接問い合わせがない限り、Salesforce はこのトピックについて顧客に連絡していません。

このユースケースが貴社および顧客に該当する場合は、「[パートナー管理共有ログインユースケースで MFA 要件を満たす方法](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000388982&type=1)」を参照してください。ここでは、その概要を説明します。

* 顧客には、組織にログインして管理業務を実行する各従業員をカバーするのに十分な固有のライセンスを貴社に提供することを推奨します。
* それが難しい場合は、特権アカウント管理ツールまたはエンタープライズパスワード管理ツールを導入し、共有された資格情報に対する MFA 検証方法として機能させることができます。この方法で MFA 要件を満たすには、実装が以下の基準を満たしている必要があります。
  + 特権アカウント管理ツールまたはエンタープライズパスワード管理ツールで MFA の使用がサポートされていて、そのツールで MFA が有効化されている必要があります。
  + 役割ベースのアクセス制御や最小特権などの技術によって、アクセス許可を承認ユーザーのみに制限する機能がツールで提供されている必要があります。
  + ツールのユーザーはすべて貴社のスタッフである必要があります。貴社の従業員は、顧客に対してサポートまたはその他の管理業務を提供する目的でのみ、顧客が提供した共有ライセンスを使用する必要があります。

**Salesforce の MFA リソース**

* MFA 自動有効化のリリース更新についての詳細は、こちらの[リリースノート](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=release-notes.rn_security_mfa_auto_enablement_phase3.htm&release=244&type=5)を参照してください。
* 自動有効化および適用マイルストンのスケジュールを把握するには、「[多要素認証 (MFA) 適用ロードマップ](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000389313&type=1)」を参照してください。
* MFA に対する顧客のユーザーの準備を進めるには、「[MFA ロールアウトに成功するための変更管理](https://security.salesforce.com/mfa-change-management)」サイトを参照してください。また、このパートナー向けの MFA ロールアウトパックで提供されているリソースやテンプレートを活用してください。顧客が MFA に対するエンドユーザーの準備を進める役割を担っている場合は、「[管理者向け多要素認証ロールアウトパック](https://security.salesforce.com/mfa-rollout-pack)」をダウンロードするようアドバイスしてください。
* 顧客の MFA を事前に有効化するには、Salesforce ヘルプの「[直接ユーザーログインの MFA の有効化](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.security_mfa_overview.htm)」を参照してください。
* MFA 要件の全詳細は、「[Salesforce 多要素認証に関する FAQ](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000388806&type=1)」および「[Salesforce パートナーの MFA に関する FAQ](https://salesforce.quip.com/6iJTAyb07itL)」を参照してください。